

◆高校生一日看護師体験 2015◆

◇はじめに◇

8月5日・6日の両日にわたり、看護部副師長会が主体となって高校生一日看護師体験を企画しました。これは長野県看護協会の事業として、長野県下各地の病院で開催されているものです。

今年度は、上伊那、下伊那の高校から2日間で26名の高校生(男子2名、女子24名)の参加がありました。



◇看護師の業務体験◇

午前中は、手洗いの講義と実技、参加者同士での足浴演習、血圧測定演習、心電図モニター装着体験を行いました。その中で、参加した高校生らが、現役看護師から優しく手ほどきを受け受けています。

その後、小グループに分かれて病棟体験をしました。患者さんから「頑張って勉強してね」「白衣姿が立派だね」など、励ましの言葉をかけていただきました。また、ある高校生は、医療現場で働く看護師を目の前にして、「看護師は患者さんに合わせて言葉のかけ方や声の大きさを変えていた。患者さん一人一人の事をよく知っていてすごいと思った。」と感想を寄せてくれました。



◇看護師を目指すには！◇

午後は、院内見学をして、医療に携わる様々な職種と看護職との連携を学び、今年度4月採用の新人看護師から、学生時代から現在までの体験談を聞きました。年齢の近い看護師の話は、今後の進路を選択するために大変身近で参考となるものでした。

当院には、奨学金制度があります。高校生の皆さんには是非この奨学金制度を活用して看護職の道を選択していただきたいという思いから、奨学金制度の説明をさせていただきました。

一日の看護師体験を通して、高校生の皆さんが医療に関わる職業に興味を持ち、あこがれや目標へと繋がっていくことを期待しています。夢へのサポートができた事は現役看護師の活力になりました。

